

令和6年

第6回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

令和6年第6回仙北市議会臨時会 市政報告

令和6年第6回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、令和6年秋の叙勲等の受章についてです。

11月3日、秋の叙勲の発表がありました。仙北市では、消防功労で元仙北市消防分団長の^{おおとも いさお}大友勲夫さん、専門工事業務功労で^{やまおか}山岡工業株式会社取締役管工事部長の^{たておかとしき}館岡利喜さんが^{ずいほうたんこうしょう}瑞宝単光章を受章されました。秋の褒章では、47年間にわたり神代駅の清掃活動等を続けてきた^{あらまちしゅうらくかい}荒町集落会が、社会奉仕活動功績で^{りよくじゅほうしょう}緑綬褒章を受章されました。

また、第43回危険業務従事者叙勲の発表があり、仙北市では、元大曲仙北広域市町村圏組合消防監で元仙北市危機管理監の^{たかはし}高橋^{ひろかず}宏和さんが消防功労で^{ずいほうそうこうしょう}瑞宝双光章を、元3等陸尉の^{あさりともみ}浅利智見さんが防衛功労で^{ずいほうたんこうしょう}瑞宝単光章を、受章されました。

10月31日、県庁で開催された秋田県地方自治功労者表彰式では、自治功労により^{くろさわつみ}黒沢龍己議長、^{あらかだしゅんいち}荒木田俊一議員が表彰されました。

この度の受章は、永年にわたる職務の精励や功績、功労が認められたものです。市民の皆さんと共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

次に、行財政改革についてです。

令和7年度の当初予算要求及び部局経営方針シートの作成が始まりましたが、先に実施した事務事業評価結果等を反映させ、幸福度全国 No.1 を目指してより良い市政運営を心がけます。

次に、仙北市の人口動態についてです。

9月30日現在の人口は2万2,997人で前年同月比614人減、世

帯数は1万300世帯で前年同月比61世帯減となっております。今年度9月までの出生届出数は37人となっております。前年同時期の出生届出数は35人で、2人増という状況です。また、9月の転入者は18人、転出者は29人となっております。

今後も子育て及び若者関連施策に注力してまいります。現在、国では、「地方こそ成長の主演」として地方創生 2.0 といわれる施策群の検討が始まっていると伺っています。次年度予算編成を睨みつつ、迅速に対応していきます。

次に、一般会計補正予算(第7号)についてです。

補正額は、2億2,702万9千円の追加で、補正後の額は218億8,348万9千円です。補正事業は、庁舎整備事業費です。継続費は設定、債務負担行為補正は追加、地方債補正は変更です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇寄附について

仙北市政の推進に活用してほしいとの趣旨で、株式会社丸栄堂代表取締役 ^{みうらだいえい}三浦大英 様から仙北市に対し、100万円の寄附がありました。幸福度全国 No.1 という市政理念の実現に向けて、市政全般の施策に活用させていただきます。

◇仙北市総合防災訓練について

10月4日、田沢湖総合開発センターなどを会場に、秋田駒ヶ岳の噴火を想定した仙北市総合防災訓練を開催しました。当日は、多くの市民や参観者が参加し、国土交通省や消防、警察などと災害対策本部設置訓練や、避難所開設訓練など実践的な訓練ができました。

今後も噴火想定のみならず大雨などを想定した訓練を重ね、市民や職員のさらなる防災意識の向上に努めます。

◇キノコ採り遭難について

10月26日、田沢湖卒田の山林で角館町在住の女性がキノコ採り中に遭難したと警察へ通報がありました。27日、遭難地点近くの神代ダムで発見されましたが、その場で死亡が確認されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

これから降雪期までキノコ採りや紅葉見物などで入山する機会も多いことから、さらなる遭難事故やクマの被害に遭わないよう、公式ラインや安全・安心メールで注意喚起します。

◇秋の火災予防運動について

11月3日から9日まで秋の火災予防運動が実施されています。これから冬にかけて暖房器具など火を使う機会が多くなることから、運動期間中は防災無線や公式ラインで、火の元に気をつけてもらうよう注意喚起を行います。

【企画部】

◇ふるさと納税について

返礼品となる米の確保が難しく、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載を一時停止していた事業者が、返礼品の確保に目処がついたため、掲載を再開しました。今後は、掲載を継続していた事業者と、今回再開した事業者の双方に対して、ランキングを停止前の水準まで回復させるための方策を講じてまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◇「仙北市メルカリ Shops」について

「仙北市メルカリ Shops」において、昨年度まで議員の皆様及び議会参与職員が使用していた ipad を出品し、10月29日現在で45品中16品が販売されています。今後もSDGs未来都市として、モノのリユースを推進し、市民に環境に対する意識の醸成と市の歳入確保を

目指した取組を実施していきます。

◇グローバル雇用・創業ワンストップセンターの開設について

11月1日、「仙北市グローバル雇用・創業ワンストップセンター」を角館駅前のシェアオフィス「ORENCHI」内に開所しました。

国家戦略特別区域会議を経て内閣府から特区メニューとして認定された、市内で外国人材を雇用しようとする事業者を支援する「外国人雇用相談センター」と、外国人等による創業に必要な各種手続きを支援する「開業ワンストップセンター」を設置するものです。

同センターは、デジタル田園都市国家構想交付金事業「高度外国人材等受入促進事業」を活用し、株式会社遊名人^{ゆうめいじん}に運営を委託しております。このセンターを通じて、外国人エンジニアや留学生などの高度外国人材等の市内での雇用促進や創業支援を行い、地域経済の活性化と定住人口の増加を目指します。

【観光文化スポーツ部】

◇台湾との交流について

10月3日から6日まで台北市政府教育局の徐華鮮^{しゅ ふうしえん}氏他4名をお招きし、市内視察や学校見学、農家民宿泊等を体験していただきました。教育を通じた相互交流を推進するため、同教育局から今後の取組について助言をいただきました。

10月7日、澄清湖^{ちようせいこ}を管理している台湾自来水公司から本部営業処^{りんもんじゅ}処長の林孟珠氏、第七管理处^{りんじやふあん}処長の林家煌氏がコロナ収束後、初めて来市し、仙北市国際交流協会主催の歓迎昼食会に参加しました。田沢湖と澄清湖の姉妹湖締結から37年を迎え、より一層の交流を期待します。

また、10月に台湾の2つの学校が教育旅行で来市し、市内視察や学校交流を行いました。これは、6月に市職員が参加した台湾現地での誘致説明会と台湾事務所の活動が実を結んだものです。

10月30日から11月1日まで、北投温泉で行われた台北温泉祭り

に参加しました。北投温泉と玉川温泉は温泉連携協定を締結して13年になります。様々な事業を通して台湾との交流活動をより活発化させ、地域の活性化につなげていきます。

【医療局】

◇寄附講座の設置に関する記者会見について

10月1日、秋田大学本部において、寄附講座「仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座」の設置に関する記者会見を行いました。会見では、尾野恭一^{おの きょういち}総括副学長、羽瀨友則^{はぶちともりのり}医学部長、渡邊博之^{わたなべひろゆき}医学部附属病院長が出席のもと、秋田大学の南谷佳弘^{みなみやよしひろ}学長とともに挨拶を行い、その後、本寄附講座運営の中核を担う植木重治^{うえきしげはる}教授と、本市で総合診療医の育成を担う肥塚慶之助^{ひづかけいのすけ}研究員から、今後の活動内容や抱負などについて説明いただきました。

本寄附講座を通じ、地域医療人材の育成・確保、医療DX事業の共同研究など様々な分野で成果が期待されます。

【選挙管理委員会】

◇第50回衆議院議員総選挙における投票用紙の未交付及び開票の遅れについて

タカヤナギワンダーモール期日前投票所で、比例代表と国民審査の投票用紙それぞれ1枚の未交付がありました。定期的な残数確認時に投票に、訪れた方に対して交付が行われなかったことが判明したものです。事案発生後、期日前投票所の動線を見直すとともに全ての投票所に注意喚起を行い、対策を講じたところです。

また、開票作業に時間を要し、予定終了時刻を超過しました。正確で迅速な開票となるよう見直しを行います。今回の選挙事務全般の点検を行い、次回の選挙に向け改善していきます。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げました。本臨時会に提案している案件は、報告関係1件、専決関係1件、予算関係1件の計3

件です。慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。